

2021年3月14日（日）メッセージアウトライン 「主の再臨を待ち望みつつ」

聖書箇所：Iテサロニケ4：13～18

タイトル：「主の再臨を待ち望みつつ」

テーマ：パウロ、シルワノ、テモテからテサロニケ教会の兄弟姉妹に送られたこの手紙は、テサロニケでの伝道中にユダヤ人による妨害のため、町を去らなければならなかったパウロたちが、まだ霊的には成熟していない教会の兄弟姉妹を案じて書いたものです。案ずるあまり、テモテをテサロニケに遣わしましたが、彼はテサロニケ教会の人々が、苦難の中にあっても堅く信仰に立って成長しているという良い知らせをパウロたちにもたらしめました。

ただ、教会の中に問題が生じていたのも事実です。それが今日の聖書箇所です。ここで取り上げられている問題は、現在の私たちと無関係ではありません。主の来臨と体の復活、さらに私たちはそのための備えをしているのか、一体どのように備えれば良いのかを考えていきましょう。

1. この手紙はテサロニケ教会だけに宛てられたものですか？

①手紙が各教会に回覧されることを願って

\*手紙の最後に記されている挨拶に注目

・ローマ 16 章、コリント第一、第二の最後の挨拶、エペソ 6：21,22、・ピリピ 4：21,22 など

・コロサイ 4：15～16

「この手紙があなたがたのところで読まれたら、ラオディキア人の教会でも読まれるようにしてください。」

・Iテサロニケ5：27

「この手紙をすべての兄弟たちに読んで聞かせるよう、私は主によって命じます。」

\*キリストの教えと各教会が抱える問題の共有を願って

②パウロは当時の教会のネットワークを作ろうとしていた

2. テサロニケ教会の問題は何だったのでしょうか？

①道徳的不品行に満ちた町（4：3～8）

②仕事を怠けて自堕落な生活を送っている人々

\*テサロニケ教会の抱えている重要問題（テサロニケ第一、第二）

\*キリストの来臨が近いと思って浮足立っている人たち

③キリストにある愛する者を失って悲しみの中にいた人々

④キリストの来臨（再臨）と体の復活への確かな知識と希望に欠けていた

### 3. キリストの来臨を待ち望みつつ

- ①では、イエス様はいつ来られるのか？（マルコ 13：32）
- ②その時、何が起きるのか？（4：14～17）
- ②その日を待ち望みつつ、キリスト者はどのように過ごすのか？

### 4. 結論

- ①自らに問うてみよう！
  - \* 主の再臨と体の復活に対する信仰をきちんと持っているか？
  - \* 準備はできているか？
  - \* どんな準備をするのか？
- ②天に帰るまでのキリスト者の使命